



## 日に美しく 日にたくましく

校長 渡邊 正博

今回の表題は、在校生はもちろん、保護者や地域の方でも本校卒業生でしたら「読む」より「口ずさむ」(メロディーが浮かんでくる)ことでしょうか、本校の校歌4番の“大好き”な歌詞です。

私は、昨年秋に開催された金管バンド第一回定期演奏会を参観させていただきました。上級生の演奏に合わせて下級生が校歌を歌う場面がありました。1つにまとまった演奏も歌声もきれいでした。そして、“なんて素敵な歌詞だろう”と感動したことを覚えています。

兼山小に赴任し、春休み中に学校探検をしてみると、グラウンド南側フェンスに、ランチルーム前の百葉箱の近くの石碑に、校舎内廊下掲示にと、いろんな場所でこの言葉に出会いました。そして入学式。1年生を迎える歓迎の気持ちと新学期のスタートへの決意を込めて、2年生から6年生、そして先生方の歌声も一緒になった校歌が体育館に広がりました。

私も、式辞の中で引用しました。

ひとびとの しあわせこそは  
 わたしらの まことの願い  
 日に美しく  
 日にたくましく  
 のびていく いのちあふれて  
 楽しい学校 ああ兼山

みんなで、こんな学校を創っていきましょう。

めざす学校像を初日にして全校児童と職員で確認することができました。



【全力で歌う校歌】

異動が決まった時から、校長として明確なビジョンを示さなくては！と意気込むとともに、言葉がまとまらず悩みもしましたが、まさに、“我が意を得たり”でした。さらに、言葉の背景を知りたいと思い、『続 兼山町史』(平成17年3月31日発行 岐阜文芸社)を紐解いてみました。

…町村合併を指呼の間にした平成14年度、兼山町で長い間教育の「スローガン」としてよい「日に美しく 日にたくましく」を教育の中核に据えた。そして、この年度は学校教育目標を次のように設定した。「豊かな心と 確かな学び方を身につけた たくましい子」職員会議を何度も開き、子どもたちの現時点での実態の上に立って… (90ページ)

と記されています。「日に美しく 日にたくましく」この言葉は、兼山町時代から脈々と大事にされてきたことが伝わってきました。町ぐるみで、地域の宝である子どもたちの健やかな育ちを願っていることを知ると、新参者の私がつかわせていただいてよいものなのかと緊張もします。と言いながらPTA総会(オンライン)で歌っていました。保護者の方々にも歌詞と「美しく、たくましく」成長していく子どもの姿を思い浮かべていただき、子育てのイメージを共有したいという衝動からの行為であります。お聞き苦しかったことと思いますがお許しください。

誰かの「やってみたい」(夢)を周りが受け止めて、可能性があれば「やってみよう」(実現)、問題があればみんなで知恵を出し合って解決できる学校でありたいと考えています。